

受講生募集のご案内

日本農村デザイン大学 第7期 2月学期

「仕事をつくる、暮らしをつくる」

「3.11」は、たくさんの人々の地域も家族も働く場をも破壊しました。私たちはいま、根こそぎ失った人々と同地点に立って3.11以後へと歩み出そうと思います。自然はヒトの営みなど斟酌せず自然としての営みをしているのでしょうか。が、ヒトはときに自然の営みに逆らい、かなり利己的に生きているのではないのでしょうか。

いま、私たちは自分たちの都合と欲望で邁進してきた歩みを止め、「3.11」のメッセージをいかに受け止めるか 「仕事」「働くということ」をテーマに考えていきたいと思っています。生きる場を取り戻すための復旧・復興とは、ワーキングプアを生み出すような強者の求めに従うのではなく、人々の願いや希望に真摯に応えていく過程から生まれてくるのではないのでしょうか。仕事とは、会社とは、仕事をする場とは何か。お二人のご経験と事例から、問題提起をしていただき、議論を深めていきたいと思っています。

日程 平成24年2月10日(金)13:30~2月12日(日)13:00

会場 講義:能楽の里文化交流会館 池田町藪田14-17 0778-44-8006
夕食・宿泊:ファームハウス・コムニタ 池田町土合皿尾 0778-44-7744

スケジュールと講義概要

スケジュール・講義概要	会場
<p>2月10日(金)</p> <p>13:00 開校式</p> <p>13:40~14:45 講義 講師:山根多恵氏 「旅館の女将、地域維新グループ代表・・・という仕事とは？」 いわゆる従来からの企業への就職ではなく、なぜ老舗旅館の若女将を選択し、地域と向き合う道を選んだのか。山根さんにとっての「仕事」とは？働く場の創出とは？雇用と経営者という関係はどのようなになっているのか。など従来にはない仕事の場を選び、何が生きがいとなって今日あるのか、ご自身の体験からお話いただき、問題提起としていただければと思います。</p> <p>14:50~16:30 講義 講師:中澤二朗氏 「企業の人事部とはどういう仕事？ 人事一筋から見えてきた仕事と人のいま」 会社の人事とはどのような仕事なのか。人事歴30年で1万人の面接歴を通して、よい会社、よい人材とは、また人々は就職活動に何を期待し、カイシャは人々のどこに価値を認めるのか。雇用の場が求められる今日、雇用されると言うこと、雇用すると言うことと、信頼できる企業と、信頼できる人材とは。など、ご自身の経験からお話いただき、問題提起していただきます。</p> <p>18:00~20:00 夕食交流会</p>	能楽の里文化交流会館 ファームハウスコムニタ
<p>2月11日(土)</p> <p>9:30~12:00 シンポジウム 中澤二朗氏×山根多恵氏 コーディネイト:伊藤洋子 「暮らしの土台、生きる礎としての働く場を考える」 お二人の全く異なる仕事感、職場感をお持ちの講師から今考える暮らしの糧としての仕事とは、働くこととはを、お話いただきます。併せて活発な質疑と議論の場を持ち、これからの仕事、働くということなどを考えていきます。</p> <p>13:00~16:30 講義とディスカッション 講師:中澤二朗氏 「働くこと、<しごと穴>の仕事人、ってどういうこと？」 中澤講師のお話を受けて、全員参加で働くということ、仕事ということを議論していきます。</p> <p>18:30~20:30 夕食交流会</p>	能楽の里文化交流会館 ファームハウスコムニタ
<p>2月12日(日)</p> <p>9:30~12:00 中澤二朗氏×受講生全員+特別ゲスト 「職に就くということ、仕事を生み出すということ」 暮らしの土台が失われたとき、まず大事なのが生きるための仕事をいかに獲得するかということです。地域が疲弊して過疎化に歯止めがかからなくなったら、まず求められるのが働く場、暮らしを立てる仕事=雇用の場です。3.11の復旧・復興に資するにはまず人々が立ち上がるための生計をいかに確保するかできるか、用意するかということが求められています。それはしかし、被災地に限らず、「生きがいの喪失、つながりの喪失、企業活力と暮らしの土台の喪失」という3つの喪失(中澤二朗さん)の中で、いま私たち皆が模索し、実践していかなければならない課題であると思います。思いっきり講師・受講生ともに議論し、手がかりをつかみたいと思います。</p> <p>12:00~13:00 昼食・解散</p>	能楽の里文化交流会館

講師プロフィール

中澤 二郎(なかざわ・じろう)氏

新日鉄ソリューションズ(株)人事部部長・高知大学客員教授

1951年群馬県生まれ。新日本製鐵(株)にて鉄鋼輸出、生産管理、労働部門などを経て、新日鉄ソリューションズ発足に伴い初代人事部長に就任。30年近くにわたって、人事・労働全分野に携わる。面接・面談者はのべ1万人に及ぶ。2011年4月より高知大学客員教授に就任。著書「『働くこと』を企業と大人にたずねたい」(東洋経済新報社刊)

山根 多恵(やまね・たえ)氏

温泉津温泉 旅館吉田屋女将、地域維新グループ代表

山口県出身。山口大学在学中からインターンとして地域活性化事業に関わる。卒業後、島根に地域活性化アドバイザーとして来たのをきっかけに、温泉津の老舗温泉旅館・吉田屋から若女将就任の要請を受け、未経験の旅館業を手がけて繁盛旅館に仕上げた。現在は若女将を後輩にゆずり、女将として活躍する一方、若女将塾を主宰している。

参加資格はございません。どなたでもご参加いただけます。

受講料および宿泊料

受講料は15,000円です。

宿泊料は、2泊3日・6食(朝食2回、昼食2回、夕食2回)付きで、14,000円です。

(2泊3日の全カリキュラムの参加を基本とします。ただし、都合により全行程参加が不可能な方、宿泊などを希望されない方は事務局までご相談ください。)

お申込み方法:受講を希望される方は、下記の申込書をFAXでお申し込みください。

第7期 2月学期FAX申込書

ご住所(〒)

お名前() 連絡先(携帯・TEL)

池田町への来町(電車/自家用車)* で囲んでください。

(電車の場合は、スタッフが送迎します。後日、集合場所などご連絡します。)

ご質問、ご要望などありましたらご記入ください。

お問い合わせ先

910-2524 福井県今立郡池田町土合皿尾2-27-1

日本農村カデザイン大学 事務局 担当:清水、佐野、澤崎まで

TEL 090-2124-8100 FAX 0778-44-9088 e-mail: ikeda@c-nord.com